

大垣市でワンストップ相談会



経営の悩み、専門家に

小規模事業者を主な対象に大垣商工会議所と地元金融機関が連携して取り組んでいる「ワンストップ経営相談会」が4日、大垣市恵比寿町の大垣西濃信用金庫本店で開かれ、西濃地域を中心に105事業所の経営者がさまざまな専門家からアドバイスを受けた。

(古家政徳)

大垣商議所と大垣共立銀行、同金庫が年に2回のペースで開催しており、8回目。経営者の悩みや不安にさまざまな見地から答えられるように、中小企業診断士をはじめ社会保険労務士や税理士、ITコーディネーター、司法書士など36人の専門家が相談員を務めた。今回初めて、大垣ビジネスサポートセンターの担当者2人も相談員として参加した。

相談数は187件で、最

経営者らの相談に乗る専門家
(奥) 大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本店

多の36件が販路開拓に関する事柄だった。年度末とあり、補助金申請に関する相談が20件と2番目に多かったほか、事業承継に関するものが17件、人材確保についてが14件だった。

また、今回の相談内容を受けて継続して個別のフォローアップを続け、経営を後押ししていく。次回のワンストップ経営相談会は9月を予定している。